

「なくなったら困る」グリーンハイツで集い

「市立川西病院の存続を求める住民の集い」が12月2日、多田グリーンハイツ・緑台公民館で開催され、70名を超える方が参加されました。主催は「集い実行委員会」と「川西の医療と介護をよくする会※」。

医療と介護の会※の今西清さんから、市立川西病院の現状と役割について、2015年度から今年3月議会までは、病院経営の健全化に努力しつつ北部での建替えを基本にしていたこと。猪名川・豊能・能勢3町との共同も視野に入れていたこと。5月1日の突如の新聞報道の背景に、昨年12月の協和会（協立病院）からの「協力依頼」の申し入れがあり、これを期に「市の構想（案）」となったこと、9月23日のたった1日・2回の市主催の説明会を開いただけで、指定管理先の公募・決定がなされようとしている市の強行姿勢などが報告されました。

また、キセラ川西医療ゾーンの土地は2年前に協立病院が17億円で購入し建替え予定だったこと。それを財政が厳しいという川西市が、100%借金でその土地を17億円で購入し、総額176億円で病院建設を行うことなど財政計画のずさんさ、280名の医師・看護師・医療スタッフは全員解雇されることなどが報告されました。

市の構想案※1

- ▶現市立川西病院（二次救急医療・250ベッド）は2021（H33）年度で廃院予定
- ▶山下駅前に北部急病センター（一次医療・内/整形/小児科24時間診療）建設
- キセラ川西センター（二次救急医療・400ベッド）建設

*ただし、市内急病ベッド総数は現協立病院が閉鎖され150ベッド減少する予定

- ▶市が土地、建物、医療機器、OA機器類ほかを176億円（全額市債）で整え、管理・運営を民間病院に委託（民営化・病院収入は全て委託先のもの）

*2019（H31）年度から民営化、「指定管理料」約3億円を「民間法人」に毎年支払う予定

予定時間超え意見続出

「新名神開通、必要性高まる」

会場には、はじめて市の構想案を聴く方も多く、たくさんの質問や意見がだされ予定していた2時間半を大きく超過しました。

「はじめて聴かせてもらってよかった」「知らないことばかりで驚いた」「なぜ協立病院にしがらむのか」「病院が地域からなくなったら大変」「市議員はどう考えているのか」など、質問、意見が続出。会場を出る時にも口々に伝えて行かれました。

主催者から、「市議員にも参加してもらいたいなどの要望に応えた再度の集会を開きたい」との意向が述べられました。

集いで出された意見（一部）

★病院のあちらこちらに、この計画は決まったかのようにポスターが貼ってある。説明もしないで進めるやり方に憤りを感じる。

★北部から病院がなくなるのは困る。交通費の負担だって大きい。

★赤字をなくす工夫を。3町との連携もしっかり考えてほしい。

★協立病院に入院していたが、患者さんが協立病院から川西病院に移転していった人を知っている。公立病院の役割があるのではないか。

★命の砦である病院が地域からなくなるのは、命が大切にされないってことだ。（裏面につづく）

黒田みちのたんぽぽだより(N0183 病院特集第8弾)

くらし・福祉・教育優先の市政めざして「みんなが住んでよかった」と思える川西市に



「住民の重い思い」手渡す

川西市北部に総合病院の存続を求める会（高須賀俊之共同代表）は12月4日、仮称「川西市立総合医療センター構想」案の白紙撤回を求める要望署名12900筆を市長に提出。市議会議員にも要望書を提出しました。北上哲仁議員と私（黒田）が同席しました。

市民の願い受け止めて

高須賀共同代表は、「市の構想案※1」では、市北部の医療が大きく後退することや市民、病院スタッフ、議会に知らせる前に突然5月1日付新聞で発表。その後も十分な情報提供や説明責任を果たさないまま指定管理者決定を急ぐやり方を批判。拙速に走らず、計画の白紙撤回を求め「市民の宝・川西病院への住民の重い思いをしっかりと受け止めてほしい」と積み上げ

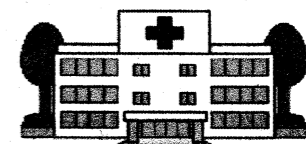
た署名を井内有吾市長代理・秘書室長に手渡しました。

要望書は市の幹部や市議会議員全員に配布されます。また、来年3月議会には、「指定管理者の指定」議案が提出、審議される予定です。

今後、署名に託された市民の思いが、どう生かされるのか、注視しましょう、

なお、署名は3月まで継続されます。12月11日現在12900筆の内訳は、市北部60.7%、猪名川・豊能・能勢3町16.7%など。

私（黒田）も広範な皆さんと共に住民が後回しにされるあり方に反対し、署名集めに全力で取り組みます。



構想案※1は、隣面に記載

「あんばいええまち」壊す 市立川西病院の閉鎖



病院は街の要

自治体は、住民の命とくらしを守り、住んでよかったと実感できるまちづくりを計画的におこなうことが役割です。その際、「病院」「買い物ができる場所」「公共交通」「子育て・教育・保育環境」の4つが欠かせないでしょう。今回の仮称「川西市立総合医療センター構想」案は、川西のまちづくりの視点から見ても大きな問題があります。

北部の“まち”が壊れる

川西市のまちづくりの課題は、若い世代を呼び込み、近隣よりも低い合計特殊出生率をあげ、“次の世代”に継承、発展させる魅力をつくりだすこと。南北直線 15kmの細長い川西市では、地形に応じたまちづくりが求められています。

ところが、市の3分の1を占める北部から2次救急の総合病院をなくす今回の構想案。街の機能を欠き、住みよいまちづくりに逆行します。

あらたに2次救急の空白地をつくってまで、病院の集中する場所に新病院をつくるなど、自治体のやることではありません。

防災・減災の視点欠く

「防災・減災」の視点を欠いている点も問題です。

川西市は阪神・淡路大震災を経験しましたが、その後、東日本大震災や全国各地の豪雨災害など多発しています。

南海トラフ巨大地震が30年以内に7割の確立で発生すると予想され、これ

らを想定したまちづくりが必要です。

阪神・淡路大震災の川西市の被害は、死者4人、負傷者551人、全壊建物554棟、半壊2728棟、一部破損6040棟(1999年川西市の記録)。地域的には、市内中央部、南部、多田部に集中しました。

南海トラフ震度6

南海トラフ巨大地震では、川西市は震度6弱~6強の揺れが予想され、兵庫県南部では、津波被害の予想も出されています。(内閣府ホームページより)

病院の分散配置必要

病院を同じ区域に集中させる危険は大きく、感染症予防対策上などからもなるべく分散させるほうがいいでしょう。南部、中部、多田、北部に2次救急病院がある現在の病院配置は優れており、崩す必要はありません。

浸水被害の予想地

加えてキセラ医療ゾーン地域は、市の防災マップの浸水被害予想地域。わざわざ新病院を建てるなど、考えてはいけないことです。

六価クロム汚染も

また、この地域は皮革工場跡地のため六価クロムなどの汚染、地中構造物への対策が必要な地域でもあります。

南北にバランスの良い現在の病院の配置を崩し、わざわざ、浸水被害予想地域であり、六価クロム土壌汚染地域でもあるキセラ川西に市が全額借金で病院を建設するなど、してはいけないのではないか。

1分1秒を争う救急

命に関わる救急医療は1分1秒を争

います。近くに病院があることは、きわめて重要で、救急搬送先が遠くなることは、命の危険や障がいが残るか重度化するリスクを高めます。

搬送格差広げる

資料①(右図)のように、今でも救急車を呼んでから黒川までの「救急車現場到着平均時間」は16.1分。山下までなら4分と市内で4倍もの差があります。その上、川西病院(東畦野)の閉鎖で搬送先の病院が遠くなれば、地域間格差がさらに拡大します。住民福祉の増進を責務とする自治体は、医療・福祉の後退を絶対にしてはなりません。

整備費=借金膨らむ

今回の構想案で、市は「整備費176億円だが、市の負担は1割」と、市の負担が17.6億円で済むかのような説明をしてきましたが、それでは収まりません。

「整備費176億円」には、浸水対策や土壌汚染対策費も含まれず、建築費などさらに上昇するでしょう。金利は51億円としていましたが、総額が増えれば金利も膨らみます。

土地の売却に依存

市財政は、とうとう「市未利用地の売却」を収入源の大きな柱にするまでに至っています。

市民の大切な財産である土地は、もしもの時に「住民の避難場所・仮設住宅用地」「廃材置き場など」として確保しておくべきで、これに依存するようでは財政運営の失策といえ

るのではないのでしょうか。

災害への対応や市の財政再建のためにも、市の構想(案)は見直しをするべきです。

資料① (H28年度)

救急車現場到着平均所要時間(住民が救急車を呼んで現場到着までの時間)

住所別	平均所要時間(分)
黒川	16.1
笹部	7.3
東畦野	5.4
一庫	6.2
見野	4.3
山下	4.0
丸山台	8.1
美山台	7.8
大和西	6.0
大和東	6.8
西畦野	5.6
向陽台	5.1
水明台	5.5
緑台	4.9
清流台	6.4
長尾町	6.0
山原	7.0
若宮	14.8
清和台西	8.5
けやき坂	8.6
市の平均	5.8



緑台公民館

緑台公民館で、市の防災マップを利用して、現在の市内病院の立地状況や浸水地域などの報告、地域間格差などの説明をさせていただきました。

(写真提供)

(写真提供)

★新名神も開通、大きな災害もやってくる。ここ(北部)に病院が必要。

★自分の意見を言わないと。アクションを起こさないとアカン。

★妊娠7ヶ月の私が里帰りをした時、突然の異常にB病院もK病院も診てくれなかったが、唯一川西病院が、受け入れ処置をしてくれた。公設公営の病院を絶対になくさないでほしい。

★歳をとると、足腰も弱くなる。病院までのバスなど走らせてほしい。

★北部で建て替えると言っていたのに、なぜ急に変えるのか。なぜ市も議員もちゃんと説明をしないのか。

他にも、自分たちは、税金を納め、真面目に日常を送っているのに、この病院の移転、学校や保育所の統廃合など、市民が後回しにされていることが腹立たしい。能勢口(キセラ)にばかり税金を使っていることが納得できない・・・などなど。

私(黒田)は、いろいろな場所でお話しさせていただき、ご意見を聴かせていただいています。お気軽にお声をかけていただき、様々な情報もお寄せください。よろしくお願ひします。(たんぼぼだよりバックナンバーは、ブログにも掲載中。ご自宅にお届けもします・携帯090-9987-7909)